

# My Journey in Sydney, Australia

2022.1 ~ 2023.1 (本来は8月スタート) 理学部 4年 高見龍輝

## About Australia

- ・約2600万人、日本の約21倍の面積
- ・羽田から約10時間
- ・日本と圧倒的に違う自然、動物
- ・ビーチや公園がすごい綺麗で雄大
- ・グレートバリアリーフ、ゴールドコースト
- ・エアズロック、ボンダイビーチ



## About Sydney

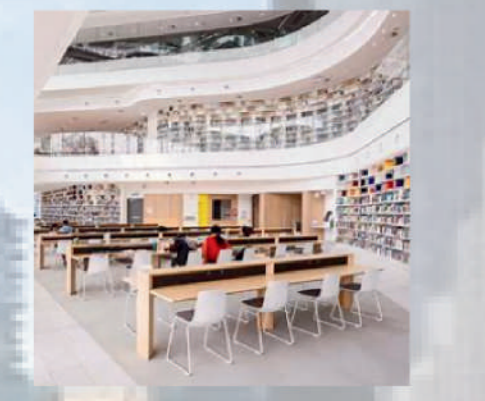
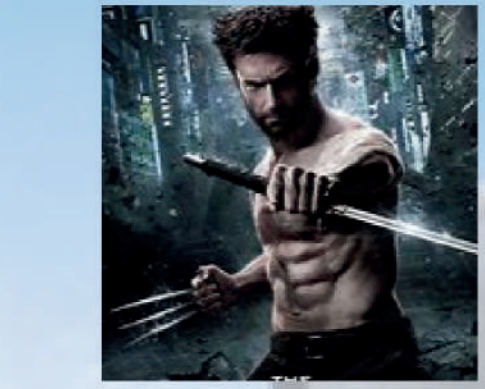
- ・人種の多様性
- (場所ごとにある違う国籍のコミュニティー
- ・アジア人が多い場所、イタリア人のエリア、～
- ・合わせて街並み、人、レストランの種類も変化
- ・物価は基本の2倍ほど(時給も!)
- ・99%キャッシュレス(電車含めクレカで全て)



## UTS



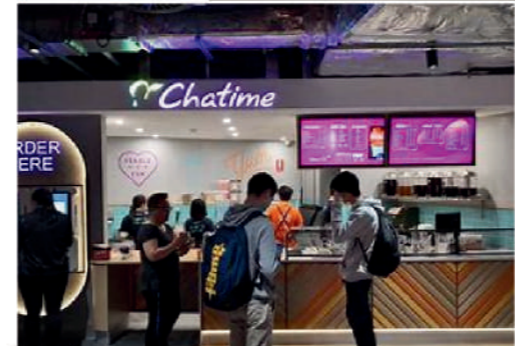
- ・オーストラリア9位、世界90位
- ・多様な生徒の人種
- ・ガラス張りの場所や屋外の勉強スペースあり
- ・サークルが180以上(MAX 5個かけもちしてた)
- ・シドニーの中心に位置、近くに色々なお店
- ・カフェ、ショッピングモール、バー、レストラン、駅
- ・分野を超えて様々な取得可能な科目
- ・地下にバー、クラブ、娯楽室ある



## 生活 (学期中)

### 学校

- ・結構不規則 (朝1は9時から)
- ・1,2限の区別ない、授業時間だけ決められている
- ・学食は生協のようなものでなく、
- ・民間のチェーンがフードコートに入っている
- ・最低1000円はする(ケバブ)



### 食事

- ・基本自炊(やはり安い)
- ・米は売っているがなぜかふっくらしない
- ・牛乳が賞味期限3か月とかある
- ・カンガルーの肉もある
- ・UTS/住んでた場所が無料でご飯配るときもにサークルのイベントや旅行

やよい軒(世界で一番の収益) 時給2200円

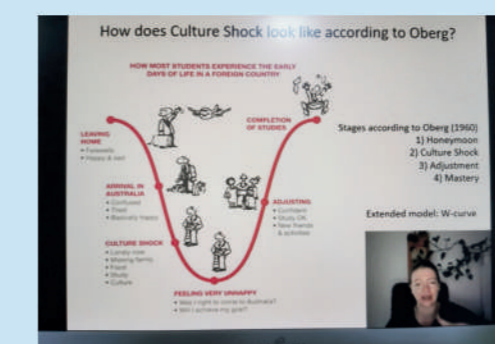
### 遊び

- ・サークルの毎週の活動 (雑談、麻雀、ボードゲーム)
- ・休日やStuvac(2週間ほどの学期中の休暇、毎学期2回)

## 学業

- 1学期目
- ・ Biodiversity
  - ・ Ecology
  - ・ Intercultural Communication
- 2学期目
- ・ Creative Imagination
  - ・ Programming I
  - ・ Computer Science

### Online Lecture



### Field Trip



鹿児島大学というmanaba



基本的に1科目の単位は6  
学生ビザの必要要件は18~24単位  
最低3科目/1学期は受講必須

1つの科目に様々な種類の授業 (1wで全て行われたり一部だったり)  
例) Discussion, Lecture, Practice  
Ecology⇒1つの関連トピックについて班で議論し発表、講義(全てオンライン)、フィールドワーク

## 生活 (休日、休暇中)

### Room/Dorm mates



### Canberra



・ War Memorial  
戦時中の資料を扱う建物で見た日本軍の様子、描かれ方が印象的

Brisbane  
ビリーアイリッシュ



オーストラリア  
vsバルセロナ



### Cairns

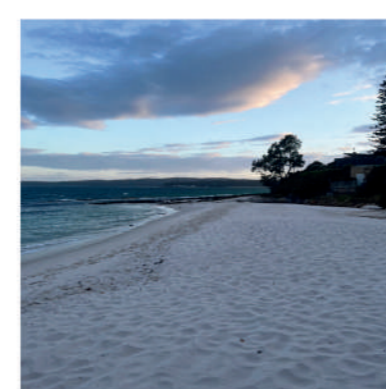


スキューバダイビング  
スカイダイビング 楽しかった

### Melbourne

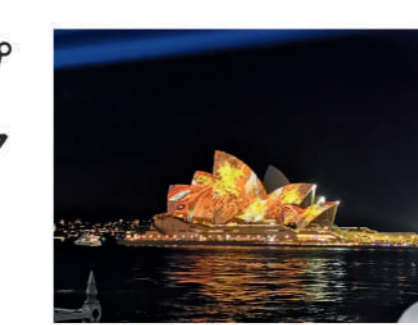


### Hamas Beach

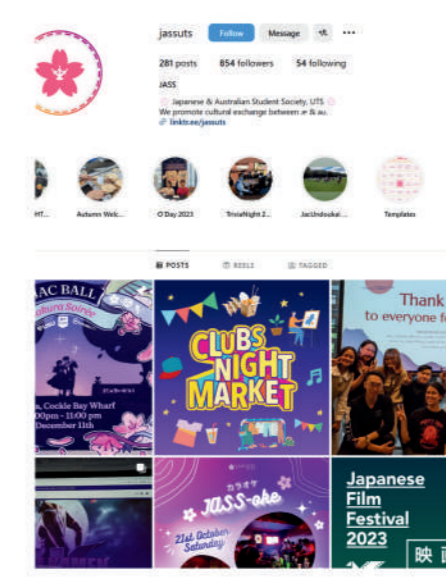


世界で一番  
白い砂浜  
ほんとうに  
おすすめ

### Vivid Sydney

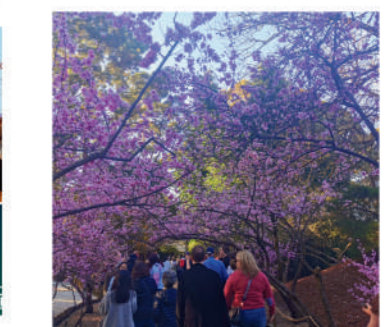


ワールドカップ  
オーストラリア  
vs日本



JASS(日本文化サークル)  
一番友人が作ることでできた!

### HANAMI



### Quiz Night



List the Eevee  
evolutions



What is the title of this famous song  
present in the yakuza Franchise?

## 留学する前と後

- 英語身につけたい/海外で研究したい
- 価値観すごい変わる
- ・ライフステージの考え: 社会の規範に縛られていない、欲に素直(26歳で6回ほど転職、25歳で違う大学に入学など)
- ・正規留学に来た日本人: 刺激を受ける、様々な背景
- ・現地生まれ育ちの日本人: identityとは、バイリンガルとは
- ・多様性: 日本と比較(民族多様性,人口変移,外国人への対応)
- ・その他社会、自然の違い: 動物、政治、労働環境、ジェンダー観
- ・修士で再び海外へ(アプライ中)
- ・専攻変えて社会科学 ヨーロッパのどこかで

理学部の性質上留年は避けられませんでした。留学した1年は5年分くらい価値がありました。それ程オーストラリアで得た経験やスキル、友達は今でもかけがえのないものとなっています。

今は交換留学以外にもワーホリや語学留学など手段は多いです。しかし、違う文化で育った同い年の大学生や世界中から正規留学で来た留学生との交流や英語での専門教育は交換留学ならではです。それなりにお金はかかりますが、大学のすすめる奨学金以外にも多く存在します。

英語の勉強や書類準備といった初めの段階が最初の壁だと思いますが、それに見合う以上の経験ができると思います。

"We are all visitors to this time, this place. We are just passing through. Our purpose here is to observe, to learn, to grow, to love... and then we return home." - Aboriginal proverb

